



富小評価だより

令和6年2月2日 No.3
富岡市立富岡小学校

令和5年度第2回の学校評価アンケートの実施に際しまして、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたのでお知らせいたします。学校では、成果と課題を明確にし、課題に対しては改善策を考え取り組んでまいります。また、皆様からいただきました貴重なご意見を3学期の学校教育に生かしてまいります。今後もご支援、ご協力をお願いいたします。

令和5年度 学校評価一覧表

【教育目標の達成状況】

観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価
みんな仲良く	相手や周りのことを考えて、その場に合った言葉遣いができる	A	元気に運動	健康に気を付けて生活することができる	A	本気で勉強	将来の夢や志をもっている	A
	自分から進んで挨拶や返事ができる	B		進んで運動し体力を高めることができる	B		主体的に学習に取り組むことができる	B
	きまりを守って生活することができる	A		安全に気を付けて生活できる	A		基礎的な知識及び技能を習得している	A
	相手の気持ちが分かり、親切にできる	A		粘り強くやり抜くことができる	B		知識・技能を活用し課題を解決できる	B
	みんなで協力することができる	A						

【本年度の努力点についての評価】 ※評価の見方… A：十分に成果があった B：成果があった C：少しの成果があった D：成果がなかった

観点	評価項目	評価	成果と課題	2学期の方策
確かな学力の向上	ICT機器の効果的な活用により学びの充実と“Funglish”の積極的な取組によるコミュニケーション能力の育成を図り、確かな学力の向上を推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○チェック表を活用し、児童の実態をつかむことができた。 ○給食時の英語放送を定期的に行ったことで、児童の興味や関心に繋がった。 ●ICTの活用については、学年間で差がある。 ●英語の授業を行っていない学年もあるため、学年間で差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態をもとに、指導内容を精選し、次学年へ引き継ぐことができるようにする。 ・各学年で情報を共有し、効果的なICT活用を実践していく。 ・HPの発信のみではなく、学年・学級便りなどを通じて外国語活動の様子が伝わりやすいようにする。 ・低学年にも外国語に関わる授業が入れられるように働きかける。
豊かな心の育成	児童にとって居場所と規律のある学級づくりを心掛け、たくましさややさしさを兼ね備えた人間育成を実践する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会や生活支援委員会等で児童のよさやできるようになったこと、変化が見られたことなど、児童のよさを多角的・多面的にとらえることができた。 ○ローテーション道徳を積極的に実践することにより、道徳の授業について学年内で定期的に話合うことができ、道徳スタンダードの定着や見直しを図ることができた。 ○人権月間を通じて児童の人権意識を高めることができた。 ○生活アンケートの内容を受け止め、学年間や生活支援委員会で情報を共有して対応を検討することができた。 ○できる限りSC及びSSW来校時にあわせて生活支援委員会を開いたことで、支援の方策をともに検討することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的に活躍できる場を意識的に設定すると共に、次の学年にスムーズに移行できるよう職員間の情報共有及び共通理解を図っていく。 ・ローテーション道徳を実施し、担任だけでなく、複数の教員が道徳の授業に関わり、学年内で同一歩調の道徳指導をしていく。 ・各学年の実態に応じて人権教育を行っていく。 ・児童との関係性を深めるとともに、より保護者と連携しながら迅速に未然防止・早期発見・早期解決に努める。 ・次の学年にスムーズに移行できるよう職員間の情報共有及び共通理解を図る。
健やかな体の育成	児童の生命を守ることを第一とし、健康と安全は児童の健全な育成及び活動の充実の基盤であるという認識に立った取組を実践する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業を中心とした、運動習慣定着の促進ができた。 ○交通安全少年団活動（交通安全運動期間の呼びかけ）や各学級での日頃からの積極的な指導により、大きな事故なく過ごすことができた。また、地震の避難訓練を行うとともに、家庭と連携した引き渡し訓練を行い、家庭との緊急時の対応についても確認ができた。 ●児童によって大きく差がある場合もあるため、児童に運動の楽しさをさらに実感してもらうことが必要である。○栄養教諭による給食の時間における食育指導を計画的に実施した。またTTによる教科等における指導により、望ましい食習慣の定着を図れた。 ●コロナ禍における免疫力低下の影響もあり、2学期の早い時期から全国的な季節性インフルエンザの流行が見られた。管内の学校の中では、遅い流行となったが、校内において、感染が拡大する結果となり、学級閉鎖・学年閉鎖の措置を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校での取組や授業の様子を、通信やWebページ等で積極的に家庭・地域に発信する。 ・学校・家庭と連携した運動習慣の定着が図れるよう、ICTを活用し家庭で運動をする環境づくりを行う。 ・引き続き栄養教諭を中心とした系統的な食育指導を進めていく。 ・手洗いの励行、場に応じた咳エチケットの徹底、換気や適切な湿度設定等の基本的な感染症対策を講じていく。 ・児童との関係性を深めるとともに、より保護者と連携しながら迅速に未然防止・早期発見・早期解決に努める。 ・次の学年にスムーズに移行できるよう職員間の情報共有及び共通理解を図る。
学校経営の充実	校長の明確な方針に基づき、教職員が協働して職務を遂行する体制を構築し、社会情勢の急速な変化に対応した学校経営への転換を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価を通して、学校課題を明確にすることができた。 ○学校評議員会での学校に対するいろいろな視点からの指摘や助言をいただくことができた。 ○人事評価に係る一人1授業後の面談を通して、職員各自が、自分の役割を意識し、協力して、スムーズな学校運営に携わっていることが改めて分かった。 ○毎月行っている服務規律振り返りシートや、輪番で服務規律委員が職員会議で情報提供を行ってきたことで、服務規律確保への意識を高めることができた。 ●学校の取組が家庭や地域と共有できるような情報発信のさらなる強化が必要である。 ●本校では服務規律違反は起きていないが、他の事案を「対岸の火事」にしないよう、情報提供を継続していく。○各学級担任の協力の下、授業時数の確保ができた。 ●一人欠員があるため、事務処理や校務分掌に充てる時間の確保が難しかった。 ●今年度は、金曜日に行事等が集中したため、言語指導時数に差が出てしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校評価の成果と課題を生かした学校課題の改善。 ・学校課題の共有と3学期の方策の着実な実施。 ・評価だよりを早期に配付し、取組の周知を図る。 ・経営方針や努力点に基づく、一人一人の役割の自覚。 ・各分掌による経営方針とリンクした目標達成に向けた実践。 ・毎月の振り返りの継続と事案を通しての啓発。 ・同じ曜日に行事等が集中してしまう場合、行事によっては言語指導を優先する等の対策を考える必要がある。
教職員の資質能力の向上	様々な教育課題に対応する資質能力の向上を図るため、校内研修では限定した内容のみを扱うのではなく、バランスの取れた教職員の職能成長を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○計画訪問の教育指導主事や一人1授業の管理職による授業参観を通して、教職員のさらなる指導力向上が図れた。 ○タブレットを積極的に活用した授業を行い、事例シートに残すことができた。 ○校内研修でSCを講師に招いたり、言語指導教室の先生に講義をしていただくことにより、特別支援教育や言語指導についての理解を深めることができた。 ●他教科に関する専門的知識を広げる。 ○学力向上委員会やメンター研修との連携を図り、教員同士で授業参観を積極的に行い、情報交換を行うことができた。 ●研修で学んだり、知ったりしたことを、自らの指導に生かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践した授業を実例シートに残し、次年度へ引き継いでいく。 ・来年度の研修の方針や計画をしっかりと立てていく。 ・引き続き、メンター研修等の資質向上研修と関連させ、教員間の授業を参観し合い、指導力向上を目指していく。

<p>幼児こ、小・中学校間との連携</p>	<p>こども園等との連携や小・中学校適正規模・適正配置基本計画で関連する学校との連携を強化し、義務教育学校9年間を見通した教育課程の滑らかな接続を図る。</p>	<p>B</p> <p>○12月の連携会議において、保護者に伝える入学までの心構えを各園に伝えることができた。同時に、各園の現在の活動の様子、園児の様子、入学に向けての取組を聞くことができた。 ○いじめ防止子ども会議、小学校訪問で、6年生は東中学校との交流をすることができた。 ●小・中学校適正規模・適正 配置基本計画で関連する3小学校(富小・西小・黒岩小)での定期的な交流は企画したが実現するのが難しかった。 ●授業公開はしているが、日常業務の多忙な中で小中間での参観交流は難しかった。</p>	<p>・書類や電話連絡でのやりとりや各園を訪問して、次年度入学予定の園児についての聞き取りを実施していく。・次年度以降の交流を実施するために、3小学校(富小・西小・黒岩小)での打ち合わせをしていく。 ・参観交流を行うためにも、引き続き授業公開をしていく。</p>
<p>家庭・地域・関係機関との連携</p>	<p>PTAや公民館、区長会、地域づくり協議会をはじめ、地域の関係機関・関係団体との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>A</p> <p>○各学年、行事についてWebページや通信で発信することができた。 ○各学年担当者が、とみさぼとの連絡に慣れ、適切に活用することができた。また、計画的に設定し、依頼することができつつある。 ○東中学校において、小中で集まり会議を持つことができた。 ●発信は適切に行えたが、ボランティアの参加状況が芳しくない。 ●交流に対する意識を高めていく必要がある。</p>	<p>・学年毎の差異が出ないよう、継続して取り組んでいく。 ・学年から、通信やWebページを用いて、ボランティアへの依頼等を積極的に発信していく。 ・中学校に繋がる、6年生において積極的な交流を行う。</p>
<p>教育環境の整備・充実</p>	<p>本校施設長寿命化改修に向けて、市役所関係部局との連携を密に行い、将来を見通した安全で快適な視点からの学校施設の在り方の具現化を推進する。</p>	<p>A</p> <p>○物品を計画的に購入し学びの環境の充実が促進できた。 ○1学期に引き続き、教室や職員室など、掃除や放課後の時間を使い、整理整頓をすることができた。 ●使用物品の返却等の意識を高め、効率的な予算執行をさらに充実させていく。 ●各学年の教材室の整理整頓が十分にできていない。</p>	<p>・必要な物が必要なときに使用できるよう、計画的に予算執行を行っていく。 ・施設長寿命化改修や来年度に向けて、各学年・各担当で教室や教材室を確認し、整理整頓を行う。</p>

【学校全体にかかわる要望・意見に対する回答】

<p>○保護者の方への回答</p> <p>【あいさつについて】</p> <p>子どもたちが進んで挨拶ができるよう、全校集会や学級活動を通して、呼びかけてまいります。また、子供たちのよい手本として、大人からも子供への挨拶を率先して行い、よい手本を示していただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。</p>
<p>【学校評価アンケートの回答について】</p> <p>回答が難しい質問が含まれており、申し訳ありません。評価しづらい項目については答えられる部分だけで構いません。</p>
<p>【なかよしアンケートについて】</p> <p>なかよしアンケートは、月末に実施しており、気になる回答については担当が個別に話を聞き、早期対応に努めております。</p>
<p>【給食エプロンについて】</p> <p>給食着は、毎週末に当番が持ち帰りご家庭で洗濯していただいておりますが、子どもによってはサイズが合わなかったり、洗剤特有の臭いを気にしたりする子もいます。学校としては、来年度の早い段階で「個人持ちも可」としていきたくと考えています。開始時期・給食着のタイプについて、再度学校より周知いたします。</p>
<p>【給食について】</p> <p>コロナ禍での生活が長く、今の4年生以下は会食スタイルの給食を未経験です。給食の時間は限られているのでその時間内に食べられることを第一に考え、今後子どもたちの様子を見ながら検討していきます。</p>
<p>【教科担当制について】</p> <p>文科省では、高学年における教科担当制を推進しています。授業者は一年間を見据えて学習指導を行っているため、学期ごとに担当教科を変えるのは難しい状況です。教科担当制は、専門的な教科指導だけでなく、複数の教員で一つのクラスを見ていく事で、児童を多面的に見ることが出来ます。また、中学校では全教科を教科担当制で行っています。中一ギャップ解消にも小学校にける教科担当制はメリットが多いと考えています。</p>
<p>【家庭科の教材購入について】</p> <p>家庭科におけるエプロン、バック作りに関しては、自分が考えた趣旨に沿って作成することをねらいとして取り組んでいます。市販のキットだけでなく、自分の趣旨に合うような布を購入してもらっています。</p>
<p>【表彰について】</p> <p>学校が募集したコンクールや、学校行事として参加した競技会等については、集会の時間を使って全校表彰を行っています。また、個人的に応募したコンクールや社会体育等の表彰は、校長室で表彰を行っています。学校たよりは保護者だけでなく、地域の方にも配付しています。氏名を掲載することで、不利益を被る児童も出てくることもあるので、氏名の掲載には慎重を期しています。ご理解ください。</p>
<p>【トイレについて】</p> <p>来年度から始まる施設長寿命化改修工事の中で子どもたちが使いやすい物となるよう、要望してまいります。</p>

<p>【学校行事について】</p> <p>○運動会の観覧について</p> <p>運動会は①児童、②保護者、③地域の方に見ていただくために開催しています。そのため、一番見やすい場所を児童席としています。表現運動に関しては、全方向に向きを変えながら演技を行えるよう、各学年で工夫しています。</p> <p>以前は、夜から並んでの場所取り、それを解消するための抽選による場所取りを実施しました。どの方法もの保護者、職員に負担を強いていました。昨年度より導入した保護者優先スペースはお互いの負担軽減に繋がっていると考えています。ご高齢の方の観戦方法については今後検討していきます。</p> <p>○行事等の連絡について</p> <p>年度始めにお配りしている行事計画に変更がある場合は、速やかに保護者に連絡するよう努めていきます。</p> <p>○行事の持ち方について</p> <p>学校は文科省が定めた学習指導要領に則り、学習を行っています。運動会を1日開催にすると、子どもたちの出る種目が増え、それに伴い練習時間も増えてしまい、本来学習すべき内容が学習できなくなってしまう恐れがあります。今後も、運動会は半日開催としていきます。</p> <p>学校行事等の持ち方については、活動の教育的意義と学校の指導環境の変化とを踏まえ見直しを進めております。群馬県から示された多忙化解消に関する「提言R6のメッセージ」とあわせて、本校の取組をご理解ください。</p> <p>○修学旅行について</p> <p>長野県への修学旅行が始まって今年で2年目となります。方面については、教育的効果や災害発生時の児童の安全確保の観点から長野県になった経緯があります。コロナ前に行っていた鎌倉への修学旅行ですが、本校規模の児童数を単独で受け入れる宿泊施設が少なくなっています。それに伴い他校との同宿となる可能性が高く、宿泊施設での活動に融通が利きにくくなことが懸念されます。長野県への修学旅行にご理解をお願いします。お小遣いに関して、ご家庭の負担にならないように検討していきます。</p>
<p>【持久走について】</p> <p>持久走大会は、道路使用の危険性、学習指導要領の改訂、学校行事の精選を総合的に鑑み、終了を判断いたしました。各学年では授業の中でタイム記録会を実施しました。今後は体育学習発表会として参観していただくことを検討してまいります。</p> <p>今年度は、学級・学年閉鎖もあり、感染症対策として一緒に走る学年数を制限しました。来年度も状況観察を行い、状況に応じた方で児童の体力向上を図っていきます。</p>
<p>【スクールバスについて】</p> <p>登校時は、星田地区と田篠地区の出発順を隔年で入れ替え、利用児童が8時10分までに登校できるよう、運行をしています。学校でも実情を確認し、課題があれば市教委に伝え、対応していきます。</p>
<p>【生命尊重について】</p> <p>昨年、ウサギが暑さと寒さの影響で2羽とも亡くなってしまいました。本校では、飼育委員が毎日当番活動で世話をしてくれていたため、飼育委員に事情を説明しました。各クラスには、子どもの実態に合わせて話をしましたが、命の大切さが伝えられなかったクラスがあったことは、申し訳ありませんでした。</p>

<p>【ホームページについて】</p> <p>学年・クラス間での投稿回数に差が出ないよう、画像やコメントの工夫や学年だよりをアップしたり、富小の児童・教職員の取組を分かりやすくお伝えしてまいります。また、子どもと向き合う時間や授業改善に努める時間を教師が確保するためには、撮影やWeb制作に充てる時間には限りがあることに、ぜひご理解をお願いいたします。</p>
<p>【水泳学習について】</p> <p>スイミングスクール利用は、天候に左右されることなく、また夏季に限定することなく計画的に学習を行うことができるという利点があります。スイミングスクールの活用によって水泳指導の充実を図っております。</p>
<p>【たより等のメール配信について】</p> <p>学校の提出物をその日のうちにお家の人に出すのも大切な学習だと考えています。緊急性の高いお便りに関しては、メール配信も併用していきます。</p>
<p>【体調不良者へのリモート授業について】</p> <p>出席扱いにはできませんが、体調的に問題なく、45分間リモート学習を行える状況であれば対応していきます。</p>
<p>【わくスタについて】</p> <p>今後も子どもたちが意欲をもって学習に取り組めるよう、内容を検討しながら教職員全体で取り組んでまいります。</p>
<p>【下校について】</p> <p>下校時刻を厳守するよう職員を指導するとともに、児童にも寄り道をせず早めに家路につくよう指導してまいります。</p>
<p>○地域の方への回答</p> <p>【ホームページへのアクセスについて】</p> <p>現在、富岡市のHPからも本校のHPに簡単にアクセスできる方法がありません。本校のHPをブックマーク登録していただければと思います。</p>
<p>【児童の安全確保について】</p> <p>学校では、自分の身は自分で守ることを考えて行動するよう指導しています。危険な行動など地域で気になる子どもの様子があれば、学校までお知らせください。</p>
<p>【児童との関わりについて】</p> <p>児童数が減少し、地域で子どもたちを見かける機会が減ってしまい地域の方とのつながりが少なくなってきたのは残念です。本校では、月に1回学校公開日を設けています。お時間がありましたら、学校に足をお運びいただき、子どもたちの様子をご覧になっていただければと思います。また、ご希望があれば、学校だよりをお渡しできますので、学校までご連絡ください。</p>
<p>【学校から保護者・地域の皆様へ】</p> <p>皆様からの激励・ご意見・ご指摘は、私たちにとって、心の支えであり、信頼される学校職員として成長する貴重な助言です。</p> <p>3学期も富小の子どもたちが希望と意欲をもって毎日登校し、未来を切り拓く資質能力や態度を身に付けられるよう、教職員一同で指導・支援をしていきます。</p>